

緊急企画

森友徳兵衛&扇一平両氏に聞く

▶森友徳兵衛氏 全卸連会長 / 森友通商株式会社代表取締役



◀扇一平氏 株式会社トミシージャパン代表取締役



前編 / ボウリングをこよなく愛する二人が CSS & SSS 両大会に託した思いとは!?

——今日は日本中が大変な状況のなかでお時間をとっていただき、ありがとうございます。

森友 ここ(森友通商の社長室)は常時殺菌しているので大丈夫ですよ。

扇 「除菌モーリス」だね。ボクもハンディタイプのモーリスを常に持ち歩いて、マスクの裏に噴きかけてる(笑)。殺菌したあとは水になっちゃうんだけど、ウイルスは瞬時に死んじゃうんだよね?

森友 そう。次亜塩素酸水というもので、人がゴホンと咳をした瞬間に殺菌しているので、コロナがこのへんに漂っていても大丈夫(笑)。

扇 今は自衛隊でも消毒には次亜塩素酸水を使っているそうだけど、モーリスは弱酸性で人体に無害なので、消毒薬が品薄で困っていた日本ボウリング場協会にも、ボクが中に入って手配させてもらった。

森友 ウチの大会(全卸連チャリティーボウリングCSSカップ)でも、感染者が出たら大変なので、場内を完全に殺菌するためにモーリスを入れた大型の噴霧器を回してやるつもりだったんですが、各社の対応がまちまちで「ダメ」というところも出てきたので、結局中止せざるを得なくなった。

——昨年秋から全国各地で予選会が行われていましたよね。

扇 ええ。それで3月7日にシチズンボウルで決勝大会をやる予定でした。

森友 一応、6月13日に延期したカタチですが、現状ではちょっと厳しいでしょうね。

空手師範の森友会長がボウリングにハマった!

——お二人は慶應高校・大学を通じてのご学友でしたよね。

扇 そうです。当時から仲のいい友人同士が集まって、毎年12月にクリスマスパーティーをやっていたんですが、森友はその中の一人です。最初は男だけだったのが、そのうち彼女同伴になり、結婚して子供ができてファミリーパーティーになっていた。子供たちは大きくなるにつれて参加しなくなって、今は老夫婦ばかりのパーティーになっちゃったけど(苦笑)。

森友 たまに孫を連れてくるヤツもいるけどね(笑)。

扇 で、ボクが文化放送時代の2005年に、並木(恵美子)さんや矢島(純一)さんと再会して『辻よしなり ラジオグラフィティ』という番組の中で「ボウリング復興計画」という企画を始めたとき、ボク自身もボウリングに完全復帰したんですが、同じころに「クリスマスパーティーでもボウリング大会をやってみないか?」と森友に持ちかけたんです。

森友 ああ、そうだった。

扇 で、東京ポートボウルでボウリングを3G投げてから、同じ会場でパーティーをやったらこれが好評で、毎年の恒例になった。そのうち森友が「マイボールを作りたい」と言い出して、夫婦そろってマイボールで投げるようになったんだよね。

森友 (頷く)

扇 投げればポンポン200アップするし、今やボク以上に

ボウリング界の事情にも詳しい(笑)。森友とボクは性格がよく似ていて、二人ともやるべきことは早くやらないと気が済まないタイプ。コロナ騒動が起きる前は毎月夫婦4人でボウリングの練習会をやっていたんですが、仮に3時集合としたら、どちらも2時半にはセンターに着いている(笑)。

——森友会長は学生時代、何かスポーツをされていたのですか?

森友 実を言うと、私は空手の師範なんです。小さいころからずっと空手をやっていて、空手一筋の人生を送る予定だったのですが、扇に騙されてボウリングを始めたら「なんて面白いんだろう」と(笑)。空手には「痛い、怖い、面白くない」の三拍子が揃っていて、スポーツ独特のゲーム性や楽しさはあまりないですからね。今はもう中毒に近いくらいボウリングにハマっているんで、投げられない毎日が続くのは辛いですね(苦笑)。

CSSカップの目的はボウリング界の底辺拡大

——全卸連のCSS(チャイルズスマイルサポート)カップは扇さんプロデュースの大会ですよ。

扇 文化放送をやめて自分の会社を作ったとき、ボウリングを通して社会貢献活動がしたいと思って、KUWATA CUPの1年前から森友と一緒に始めました。ホームページを見てもらえば分かりますが、今は多くの一般企業が応援して下さって

2020年、新型コロナウイルスという「見えない敵」の出現によって、日本中から「あたりまえの日常」が消えた。政府による“緊急事態宣言”下で、全国各地のボウリング場は感染リスクの高い遊技場として「休業要請」の対象施設となり、3年前からボウリングを通じた社会貢献活動を精力的に展開してきた“慶應コンビ”森友徳兵衛&扇一平の両氏も立ち往生を余儀なくされているが、ボウリングをこよなく愛する二人は、それでもいって意気軒高だ。



▲3年目を迎えたCSSカップは決勝大会を目前にして延期に。写真は昨年9月の北海道地区予選時(札幌オリンピックボウル)。左から永井将人プロ、森友氏、扇氏、川浪隆弘プロ(扇氏のFacebookより)

います。

森友 全卸連は全国の日用品・化粧品の間屋さんの集まりです。都道府県単位の組合のトップが寄り集まって、けっこう真面目に、いろいろな流通課題を俎上に上げて深掘りしているのですが、その下の社員には何も伝わっていない(苦笑)。会社に従事しているすべての人を含めての全卸連であれば、その人たちをつなぐヨコの糸が必要だと思っいろいろ考えた結果、だれもが気楽に参加できるボウリング大会を開催するのがいちばんいいだろうということで声がけをしたら賛同してもらえて、会社対抗というカタチで始めました。そのさい、参加費に少しずつ上乗せしてもらって、経済

的に恵まれない子供や資格障害者の方たちへのチャリティーに回そうと。そうした目的があると参加しやすいということもありますから。

——なるほど。
森友 毎回、全国7地区で予選をやって全国大会、という流れです。普通、大会はうまい人たちを集めてやるものですが、われわれはボウリング界の底辺を広げていこうという目的で活動しています。

扇 ボクらの時代は、ボウリングと言えば純粋な競技スポーツでしたけど、今の若い人たちにとっては「ただの遊び」だと。ボウリングがスポーツ紙に取り上げられないのも、今のほとんどの記者がレジャーだと思って